

1. 件 名 : OECD/NEA WGELEC のワークショップに係る面談
2. 日 時 : 令和 5 年 7 月 14 日 (金) 13 時 30 分 ~ 14 時 00 分
3. 場 所 : 原子力規制庁 9 階 C 会議室 (TV 会議システムを利用)
4. 出席者 (※・・・TV 会議システムによる出席)

原子力規制庁

審査グループ実用炉審査部門

義崎管理官補佐

福原管理官補佐

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

皆川主任技術研究調査官

原子力エネルギー協議会 : 1 名※

東京電力ホールディングス株式会社 : 2 名※

関西電力株式会社 : 5 名※

## 5. 要旨

経済協力開発機構/原子力機関 原子力施設安全委員会(OECD/NEA CSNI)では、原子力施設の電気システムに関する安全課題の調査・研究を所掌する電気システムに係るワーキンググループ(以下「WGELEC」という。)が設置されており、原子力規制庁(以下「規制庁」という。)の職員がメンバーとして参加している。WGELECでは、2022年4月より、「設計基準外事象のための電気システムの設計、設置及び運転」(活動7)及び「電気システムにおける磁気誘導電流の管理事例」(活動8)を実施しており、これらの活動では、①各国の事例等のアンケート調査、②ワークショップにおける議論、③収集情報の分析及び報告書作成を行う計画である。これまでに①が終了し、②のワークショップを本年11月に英国で開催することを計画している。ワークショップでは、産業界、規制機関、技術支援機関等が参加して、活動7及び活動8に係る各国の取り組み等について、発表・議論が行われる予定であることから、規制庁から原子力エネルギー協議会(以下「ATENA」という。)等に対し、同ワークショップの概要を説明するとともに、同ワークショップにおいて電力事業者から発表を行うように依頼した。ATENA等からは、産業界側で検討した上で別途連絡する旨回答があった。

## 6. その他

資料 : なし